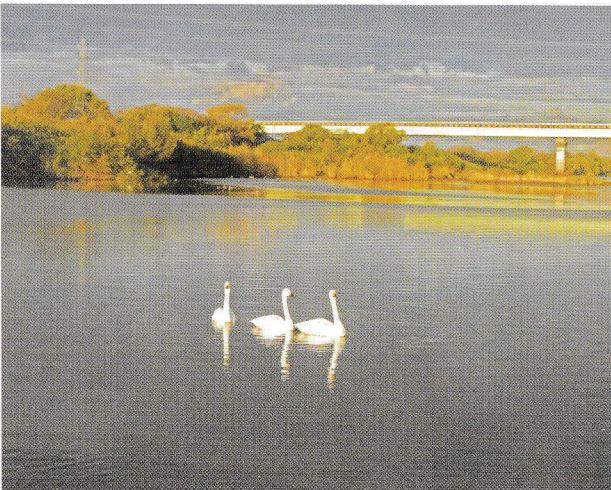


シリーズ 第9回

白鳥の歌

また会えたね !!

文・写真 岸谷 英雄



診療所だより

第四一五号（12月号）

発行 医) 宏友会
上田診療所
酒田市上野曾根
字上中割73番地
TEL0234-27-3306
責任者 矢島恭一

今回もシベリアに帰れず最上川で暮らしてきた3羽の白鳥さんと、シベリアから帰ってきたお仲間との再会についてのお話です。

連載6回目で紹介した3羽の傷ついた白鳥さん、厳しい夏の暑さや台風による川の増水、川岸近くに現れる四つ足動物などの脅威も乗り越えて、とうとうシベリアからお仲間が帰つてくるまで、元気に生き延びました。

僕は彼らとシベリアから帰つてくるお仲間との再会を待ちわびていました。ただ、白鳥さんたちは家族・仲間の絆が強い一方で、違うグループ、家族に対しては排他的です。

飛べない彼らは、たくさんのお仲間が朝早く田んぼに出勤すると、3羽で皆が帰るまで、餌を探したりしてお留守番です。そうして、日暮れ時に次々と田んぼから帰つてくるお仲間をねぐらでお出迎えします。

春からあの3羽の子たちが一生けん命に暮らしてきたのを見守つてきた僕は、そんな彼らの様子を見て本当にうれしくなりました。

写真の1枚目は、春から生き抜いてきた3羽の白鳥さん、2枚目はその3羽（赤丸）とシベリアから来た4羽の白鳥さんファミリーです。

このコーナーに
対する感想や
応援メッセージを
お待ちしています。

（編集部）



最上川でずっと過ごしていた3羽がシベリアから帰つてきた多くの白鳥さんから果たしてめでたく仲間に入れてもらえるのか、とても心配でした。そしてシベリアからの白鳥さんたちが、とうとう一部の集団が、彼らのねぐら近くまでやつきました。



シリーズ「ふるさと」

その168

くるみ割りカラス

カラスが空中からクルミを落として車にひかせ、割れた中味を道路で食べていた。クルミや貝などを落下させるカラスの行動は知っていたが、実際に目の前で起きると「人がカラスに利用されている」というふうに思えた。クルミ割り行動が最初に見られたのは東北大学のキャンパスだった。今は東北地方全域まで広まっている。クルミや貝は栄養価が高く、それを食べたカラスは他のカラスより健康で、多くの子孫を残すことができる。そのため、「クルミ割り」を学習したカラスは徐々に増え、カラスとは「クルミを割る鳥だ」と言われるようになるかも知れない。



が、カラスは火に興味を持つらしい。昔は、カラスが墓場から火のついたロウソクや線香をくわえて飛び出し、茅葺き屋根や杉皮屋根に投げ火災を起こすことがあったようだ。そのため、お墓参りの際には「火の始末をきちんとするように」と村の総代からきついお達しがあつたそうだ。ところで、魚の餌を売っている自動販売機の前に、落ちていたコインを投入し餌を取り出して食べているカラスが現れたそうだ。間もなく、自動販売機からビールを取り出し、千鳥足で道路を横断するカラスが見られるかも・・・。

動物は火を恐れ嫌うはずだ
い。

(庄内 平也)

10月法人全体会議 防災研修

上田案山子まつり

診療所のニコちゃんは「じょんだで賞」受賞!

災害が起きたと想定した演習
リモート中継で学びました



日本海総合病院より初期研修医の久保陽平先生が

2日間研修に来られました



☆久保先生より

診療所が和やかな雰囲気に包まれており、矢島先生をはじめスタッフの方々と患者さんの強い信頼関係が伝わってきました。

自分も矢島先生のような患者さん第一の医療を提供できるよう頑張ります。

今年も二大ニュースで 締めくくります

矢島 恭一

毎年12月号は、その年私の身の上に起きた二大ニュースで締めくくりつてきましたが、今年も昨年と同じようになります。コロナ感染症とワクチン接種、それにウクライナへのロシア侵略に明け暮れした一年でした。

つまり私自身は感染しないように遠出しない、巣ごもりの生活を続け、遠出しないので変哲のない日々の繰り返しでしたが、時にスリーリングなことがあります。気が抜けない一年でした。

今年春頃からは、集会が緩和され、演奏会には出かけましたが、主治医から飲酒を禁じられているので、宴席には極力出席しないようにしていました。

幸いなことに、リモートでの学術集会の聴講が出来るようになつたので、資格の更新の際の単位取得は楽になりました。反面やたらとこの手の講演会（多くは製薬会社が持ち込むもの）が増え、多少辟易気味です。診療のあとはゆっくり休む時間が欲しいからです。

さて新型コロナワクチン接種についてです。昨年から始まつた新型コロナワクチンの接種は、これまでに達しが出て、5回目が始まりました。しかも季節的にインフルエンザワクチンを終了し、接種間隔を3ヶ月に短縮して接種するようにとのお達しが出て、来年こそいい年になりますように。



12月からコロナワクチンを接種しようと計画していたところ、第8波の流行が始まり、これまでのワクチンでは効果がないことも判つてきました。前倒しで接種を始めることにしました。

ちに報告、翌日から7日間の電話診療が始まります。この業務を私一人でやつたら、今までの世に往つていたかも知れませんが私のところの献身的スタッフが支えてくれております。

そんな折、8月には当法人内でも施設内感染が起き、職員も感染しましたので、勤務のやりくりをするのに苦労しました。このクラスター発生も幸いなことに2週間あまりで収束しましたので、胸をなで下ろしたところです。しかし施設内感染、院内感染は繰り返すことが分かつており、油断は出来ません。

県からは、近く抗原検査キットが配布される予定であると聞いており、週二回スタッフ全員が症状のあるなしに拘わらず検査するようになります。

ウイルスは、どんなに強力なワクチンが出来ても変異を繰り返し、生き残つていくといわれ、撲滅するのは難しいかもしれません。もう少し日常生活が穏やかに過ごせるようになることを祈るばかりです。

穏やかな日常生活といえば、ウクライナにロシアが進行し、未だに解決の糸口さえ見出せないまま泥沼はまつっていくようです。戦争とはこんなものかもしれません。どちらの国が、生きるのが辛くなつて、降参の手を上げるまでは。

それにしても第二次世界大戦の終盤のように国連は全く機能しなくなつており、どうやって收拾するのでしょうか。来年こそいい年になりますように。

鳥海小学校



「たまごからくだもの出てきた」

工藤 あき子さん



「うさぎとお花ばたけ」

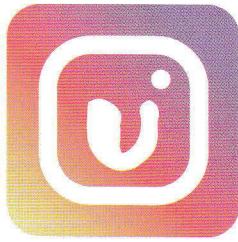
阿部 ひいろさん

「こどもたちの
さくびん」

▶倒れたコキアを起こしたら
見事なグラデーションになりました。



vestagram



ヘルパー
小関 智子

▶チューリップのフルーツサンド
切り口にお花が咲いて大成功！

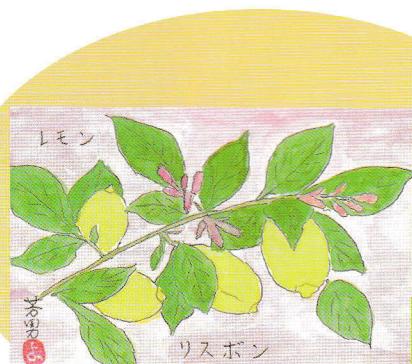


職員が撮ったお気に入りを紹介します★

11月号の答え

チングンサイ
モヤシ でした！

富山市在住の土田芳男さんより
届いた絵手紙をご紹介します。



今
月
の
絵
手
紙

- ①糸・木・会
- ②日・門・人
- ③糸・羽・白・東

ヒント 左右に並べたり上下に並べたりしてみましょう。

☆次の漢字を組み合わせてできる二字熟語は何でしようか？

アタマ

の 体操

脳トレ



年末年始お知らせ

12月28日(水)通常通り診察

1月1日(木)休診

4日(水)通常通り診察

休診

いつ迎えに来ても良いのに：もう、生きているのに飽きてしまったと笑う97才のAさん。昨年、ハタハタの田楽を食べ損ねてしまつた事が悔しく「来年の大黒様まで死なんねぐなた」と話していた。今年も来年も、いっぱい食べて下さいネ！

ほほえみがえし



編集後記

6月号で登場した白鳥さんたちの再会。受け入れてもらえた進歩ました。が、次第に仲良くなっています。お出迎えをする（阿部）

***新型コロナウィルス検査**(抗原検査・遺伝子検査)できます。検査をご希望の方はスタッフまでお声がけください。予約は電話にて可能です。